

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ABA発達支援教室みらいkids & Sports		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 1日	~	2025年 11月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 11月 1日	~	2025年 11月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 20日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・DCD（発達性協調運動症）に特化した支援をしており、個々の体の発達に合わせた運動プログラムを提供できる。	・体の発達段階にあったプログラムの提供のために、活動中の動きの観察、保護者様から日々変化していくニーズの確認などをしている。	・DCD（発達性協調運動症）に特化した支援ができるよう、スタッフ間の研修、研鑽をしていく。
2	・様々な運動器具を用意しており、多彩なプログラムの提供ができる。	・課題をスマールステップに段階分けをし、成功体験をたくさん経験できるようにし、自己肯定感を高められるようにしている。	・運動器具の定期点検を行い、子どもが安心して利用できるように環境を整える。
3	・のびのびと動ける空間があり、身体を大きく力いっぱい動かすことができる。	・療育の空間、遊びの空間を分け、療育と遊び構造的に分けられるようにしている。 ・遊びから療育への切り替えなど、場面の切り替えを支援しやすい環境を作っている。	・色分けや、マークなどを活用して、さらにわかりやすい構造にできるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・出入口が一つしかない。	・災害が起きた時に、出入り口の確保が必須であると考えている。	・災害ごとの避難訓練の実施や、防犯対策の訓練など定期的に行う。
2	・感染症対策としての換気がしづらい。	・窓が少ないため。	・空気清浄機を二台常設し、常時喚起している。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		保護者等からの事業所評価の集計結果						
		公表日 2026年 2月 10日						
		利用児童数 2025年11月1日 現在17人 回収数 12						
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	0	0	0	のびのびと活動出来ています。 十分に確保されています。 広い空間でお勉強できていると思います。	引き続き整理整頓に努め、スペースの確保をしています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	12	0	0	0	担当の先生以外の先生にもたくさん見てもらっていて、ありがとうございます。 適切な子供が安心して過ごしています。 常に2人体制でみててくれています。	今後も様々な専門分野の職員を適切に配置していきます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思います。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9	2	1	0	ケガすることもなく適切だと思います。 広々と子供にとってわかりやすい環境です。 今まで個別だったが、急に2組になり、少し気が散る環境だと思った。 中に入って、長く過ごしたことがないので分かりません。	仕切りを設けるなどの工夫をし、集中できる環境を作ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12	0	0	0	整理整頓されており快適に過ごせていると思います。 安心して、活動ができる環境です。	今後も整理整頓、換気など心地よく過ごせる環境を作ります。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	0	0	0	毎回、子どもに合った支援を提供してもらい感謝しています。 子供のことをよく理解して頂いて支援を受けられています。 毎回連絡帳にしたことを書いて下さり、あわせた支援をしてくれています。	今後も保護者との連携をはかり、個々に応じた専門性のある支援をしていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	0	0	0	毎回、こどもに合った支援を提供してもらい感謝しています。 合っていると思います。	今後も計画を基づいたプログラムの提供をしていきます。
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12	0	0	0	一緒に相談して毎回ていねいに計画書を作成してもらっています。 よく理解していただき支援計画を作成してもらっています。	今後もアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析し、個別支援計画を作成していきます。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11	0	0	1	一緒に相談して毎回ていねいに計画書を作成してもらっています。 支援内容がわかりやすく後で見返しやすい。	今後もより具体的な内容を設定できるようしていきます。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	適切だと思います。 保護者にも分かりやすい支援計画書を作成していただき助かっています。	今後も計画に基づいた支援をしていきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	11	1	0	0	適切だと思います。 よく、次もやってみますと提案して下さる。	新たな運動機器を導入して多彩なプログラムを用意できるようにしていきます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	3	4	4	適切だと思います。 個別療育利用中はないとと思います。 特に望んでいません。	必要があれば検討していきます。
保護者へのお問い合わせ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1	0	0	わかりやすく、ていねいに説明してもらっています。 丁寧な説明です。ありがとうございます。	今後もわかりやすく丁寧な説明を行っていきます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	12	0	0	0	わかりやすく、ていねいに説明してもらっています。 説明をうけました。 面談を定期的にしてくださり今の課題がよくわかります。	今後もわかりやすく説明していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	11	1	0	0	参加はしていませんが、様々な企画をされていると思います。 子ども育てに参考になりました。 とても勉強になる講座をしてくださり感謝しています。	家族支援プログラムを今後も実施し、手紙やSNSでお伝えしていきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	12	0	0	0	いつもすぐに対応していただけて感謝しています。 連絡帳が直接相談して、理解できていると思います。 悩みがあると先生に相談させてもらい、共有しています。	保護者様とのコミュニケーションを密に取り、共通理解をしていきます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	0	毎回、支援後にアドバイスをいただいている。 聞きたいことはすぐ相談できる環境ですし、面談も行って頂いています。	定期的な面談の実施、助言などを行っています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12	0	0	0	毎回、支援後にアドバイスをいただいている。 いつも共感して頂いてありがとうございます。 できたことすごいことがあるといつも一緒に喜んでくれます。	今後もお子様やご家族様により沿った支援をしていきます。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	1	1	1	いろいろな企画を考えておられ交流の場を作っていると思います。 保護者同士の交流イベントの機会があるのは知っていますがきょうだい向けのイベントがあることは知りませんでした。 参加はできていませんが定期的にしてくれています。	保護者会の開催はしているが、きょうだい向けのイベントは今後、機会があれば検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることにについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	0	0	けがをしたときなどよりそってくださり対応を一緒に考えてくださいました。 気になりますなどいつも相談させてもらって助かっています。 適切に対応してもらっています。	みらいカフェを併設し、相談しやすい環境を整えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12	0	0	0	電話でもラインでもいつもじんそくな対応をしてくれます。 よく連絡帳に記入したことを話したり、ラインなどで情報伝達されている。 毎回、支援後にお話をしている。	連絡帳やSNSなど個々に合った情報伝達をしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	11	1	0	0	ラインで配信されている情報がうれしいです。 わかりやすく発信されています。	今後もたくさんの情報を発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	1	適切だと思います。 今のところ可もなく、不可もないでの分かりません。	今後も個人情報の保護を徹底していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	0	0	0	最近と通所している時に説明を受けました。 適切だと思います。	マニュアルは、いつでも見られるとこに置いています。 SNS等を通じて、研修や訓練の様子を発信しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	0	0	2	先生方もよく講座などうけてらして安心します。 訓練が行われていることは、認識していますが、月日いつ行っているのかあまり意識していませんでした。 適切だと思います。	継続して災害時に備え、訓練していきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	0	適切だと思います。	今後も契約時に丁寧な説明を行っていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8	2	0	2	事故や避難場所などの対応は説明されています。 適切だと思います。 実際に遭遇していないので分かりません。	今後も速やかな連絡体制を取り、契約時に丁寧な説明を行っていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	12	0	0	0	こどもは安心して楽しく通所しています。 子供によりそって支援してくださって、先生方のことが大好きです。	今後も安心安全な環境づくりに努めています。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	0	0	はすかしがり屋でクールな子ですが、いい表情で安心して過ごしている姿がみられ毎回とても楽しめています。	今後も通所を楽しみにさせていただける支援をしていきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	12	0	0	0	行くことをいやがったことは一度もなく、むしろ毎回楽しみにしています。 長期的に通所できるのは、日頃先生方がこどもに寄りそい認めてくれるからだと思っています。いつもありがとうございます。 とても満足しています。	今後も楽しみにさせていただけるように努めています。

事業所における自己評価結果						
事業所名		公表				
事業所名	ABA発達支援教室みらいkids & Sports	公表日	2026年 2月 10日			
環境 ・ 体 制 整 備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	・利用定員と支援室のスペースは確保できている。 ・最大でも2人しか来ていないので、スペースも十分にある。	子どもたちが活動しやすいように十分なスペースを確保していく。	
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	・子どもの状態に合わせて職員の配置は適切である。 ・子ども1人に対して、2人以上のスタッフがいるので適切。	今後も適切な職員を配置する。	
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・子どもにわかりやすく構造化できている情報伝達、環境の配慮はできている。 ・子どもにとって見て分かるように設定されている。	設備の点検など含め、適切な環境を設定する。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	・子どもたちが日々、活動できやすい空間づくりの工夫をしている。 ・毎日掃除をして清潔を保っていて、運動に合う空間にしている。	整理整頓され清潔な環境を保っていく。	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	・子どもが個別の部屋や場所を使用できる環境になっている。 ・個別の部屋が他にないが、1人でいれるスペースはある。	クールダウンできるスペースを確保していく。	
業務 改 善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	・事業所のスタッフ全員で目標設定、振り返りを行っている。 ・PDCAサイクルに対し職員が参画できている。	今後も職員間での話し合いの場をたくさん設ける。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・評価表を配り、その結果などをスタッフで共有している。 ・保護者の意向を把握し業務改善へつなげている。 ・アンケート等で保護者の意向等を把握し、ミーティングを行っている。	アンケートを基に業務改善をしていく。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	・スタッフの意見を参考に、道具の配置など考えることもある。 ・職員の意見を把握し、業務改善へつなげている。	今後も一人一人が意見を言える環境設定をしていく。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1	第三者による外部評価を行っているか、詳しくは知らない。	外部からのコンサルティングで業務改善している。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	・毎月研修を行っている。それに加えて個人個人に合う研修もしている。 ・研修を開催する機会が沢山あり確保できていると思う。	外部からも講師を招いて研修をしている。	
支援 ・ 計 画 の 実 施	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	・子ども1人1人に応じた、プログラムが作成されている。 ・支援プログラムが作成され公表されていると思う。	今後もプログラムの公表を行っていく。	
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4	0	・面談などで保護者からの話を聞き、その情報を元に、作成されている。 ・子ども1人ひとりに合わせた児童発達支援を作成できている。	今後も適切なアセスメントを行い、支援計画に反映させる。	
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	・管理責任者と職員が共通理解をし、子どもの最善の利益を考慮できている。 ・スタッフの意見も取り入れながら作成されている。	今後も職員間での話し合いの場をたくさん設け、共通理解のもとで支援計画を作成する。	
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	・スタッフ全員に共有されていて、その計画に合うプログラムで支援をしている。 ・児童発達支援計画を共有し計画に沿った支援を行っている。 ・支援計画をコピーし、いつでも共有できるよう、実績に挟んでいる。	いつでも確認できるようにし、計画に沿った支援を行っている。	

適切な支援の提供	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	・子どもの行動など記録やデータで確認されている。 ・アセスメントを使用する際には、確認を行っている。	ABAのツールや日々の記録、データを活用している。
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	・子どもの支援に必要な項目が設定され具体的な支援内容が児童発達支援計画に設定されていると思う。 ・子どもも1人1人に必要な項目が設定され、支援の内容も適切に設定されている。	今後もより具体的な内容を設定できるようにする。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・チームで活動プログラムを立案できるよう工夫している。 ・チームで基本的なプログラムなど考えている。	今後も職員間での話し合いの場をたくさん設ける。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	・様々な道具を使うなど工夫している。 ・活動プログラムが固定化しないよう考え工夫している。	新たな運動機器を導入して多彩なプログラムを用意できるようにしている。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	・子どもの状況に応じて個別と集団活動を組み合わせ支援が行われている。 ・個別が必要か集団が必要かなど、子どもに合わせて、計画が作成されている。	子どもの状況に合わせて個別活動と集団活動を組み合わせる体制を取っている。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・支援内容や役割分担を確認しチームで共有をして支援を行なうことができている。 ・療育が始まる前に、必ず打ち合わせを行い、連携をとっている。	今後も内容や役割分担の打ち合わせを行い、チームで連携した支援ができるようにする。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	・療育後、良かったこと、気づいたことなど共有している。 ・日ごとに振り返りをしチームで共有をし次へつながるよう工夫をしている。	今後も振り返りを行いチームで共有し、次回へ反映させていく。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・毎回記録を取り、検証・改善につなげている。	今後も記録をより良い支援のために活用していく。
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	・チームでモニタリングを行い、必要があれば見直しもしている。 ・モニタリングを行い適切な見直しを行うことができる。	今後も継続していく。
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	・子どもを理解している児発管のスタッフが参画している。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・保育所等訪問や関係機関連携などで連携している。	必要に応じて連携していく体制を整える。
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	・園の方から希望があれば、療育の見学などを行い、情報を共有している。	必要に応じて情報共有していく。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	・保護者に対して、学校側に伝えておいた方が良いことを伝える事はあるが、直接共有などはしていない。	保護者の希望があれば、今後も学校との情報共有を行っていく。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	0	・モニタリングのときなど、支援計画の内容の話をするときがある。	引き続き児童発達支援センターとの連携を取っていく。

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の他の子どもと活動する機会はない。 ・外との交流はない。 	機会があれば検討する。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの状況を伝え合い共有し理解ができるように工夫をしている。 ・送迎の時に、その日の様子などふまえて共有している。 	日々こどもたちの様子を口頭での説明、連絡帳、面談等を通して伝えていく。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的にペアトレなど行われている。 ・ペアトレなど保護者が参加できる研修の機会や情報提供をできている。 	今後も継続していく。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・契約の時に、読み合わせなど行い、説明している。 ・1つずつ丁寧に説明をできている。 	今後もわかりやすい説明を心がける。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの困り感などを聞いたりできるよう、面談など設けている。 ・子どもや家族の意向を確認する機会を設けている。 	今後も保護者の思い、子どもの意見を尊重して支援計画を作成する。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい計画ができるごとに、説明をして、同意を得ている。 ・児童発達支援計画の内容を確認し同意を得ていると思う。 	今後も継続していく。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの悩みなど聞いたとき、アドバイスなど伝えるようにしている。 ・保護者からの悩みや相談に適切に応じ面談や助言と支援を行っている。 	保護者から相談の希望があれば、随時面談を行う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会を定期的に開き、保護者同士の交流を設けている。 ・保護者会を行い、親同士が交流できる機会がある。 ・事業所ごとに保護者会を開催し、保護者同士の交流する機会を設けている。 	保護者会を開催し、好評を得ている。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・相談や、申し入れがあったとき、すぐ共有して対応している。 ・相談や申し入れがある場合に迅速かつ適切に対応できていると思う。 	今後も相談の申し入れがあった時には、迅速に対応していく。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・かわら版やインスタグラムなどで情報を発信している。 ・子どもや保護者に活動や行事などを手紙やSNSで発信できている。 	今後も活動の様子や、様々な情報を発信していく。
非常時等	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・鍵付きの棚に情報ファイルなど保管されている。 ・個人情報の取り扱いには気を付けて十分留意している。 	今後も個人情報の保護を徹底していく。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・目で見て分かるような視覚支援などもしている。 ・意思の疎通や情報伝達のための配慮をできている。 	今後も視覚支援など、情報伝達の配慮をしていく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	3	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民とは交流していない。 ・地域住民を招待することは難しい。 	必要があれば検討する。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・職員や家族などに共有して、訓練も実施している。 ・事故や防犯、感染症対策を周知し、発生した時に応できるよう訓練をしている。 	マニュアルは、いつでも見られるところに置いている。 SNS等を通じて、研修や訓練の様子を発信している。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練など、研修等の中で行っている。 ・定期的に訓練を行い対応できるよう工夫をしている。 	継続して災害時に備え、訓練していく。
非常時等	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・薬を飲んでいることなど保護者から聞いている。 ・服薬や予防接種などこどもの状況を確認している。 	事前に情報共有し、適切な対応ができるようにしておく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーがあるかどうかは把握しているが、指示書などはもらっていない。 ・食物アレルギーがあるこどもには十分に注意をし医師の指示書に基づく対応をしている。 ・医師の指示書はないが、アレルギーのあるこどもに対して十分に配慮している。 	今後も引き続き、アレルギーを把握し、十分な配慮をしていく。

寺 の 対 応	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理が十分された中で支援を行うことができていると思う。 ・研修などを通して、安全の確認等をしている。 	今後も引き続き、安全管理を徹底していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの安全確保に関して安全計画の内容を家族へ周知していると思う。 ・安全を守るため、どのような対応をしているのかなど伝えている。 	災害が起きた時の対処方法について、保護者の周知している。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを共有し同じことが繰り返されないよう再発防止に努めている。 ・ヒヤリハットが出たときにすぐに対応している。 	今後もヒヤリハットを共有し、再発防止の対策をとる。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会があり適切な対応をされている。 	今後も虐待防止のための研修を定期的に行う。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4	0	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に十分に説明をし同意をもらった上で支援計画に記載できている。 ・契約をする時に説明されている。 	今後も継続していく。